

# インパクトのある指摘事項と 改善提案を導くスタンダード

一指摘と改善提案にインテリゼンスを与えて

専門的な作品に仕上げる規律とルール

「内部監査実務マスター・コース」〔第4回開催分（全9会合）〕

- 日 時 ● 2017年12月19日（火）14:00～17:00  
 ●会 場 ● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』  
 ●講 師 ● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人・米国公認会計士（現在 inactive）

大手監査法人で20年近く会計監査に従事し、その間、法人内の会計監査アプローチの普及・研修活動や公認会計士協会本部の委員会活動にも専念。その後十余年は、アンダーセン、PwC及びE&Yの監査法人で内部監査、内部統制、リスク管理、不正調査等に特化。新日本監査法人シニアパートナーを2012年に退任後はボルボグループで日本の内部監査統括の経験も経て、現在も同グループ会社UDトラックスの監査役として監査に従事。また藤井範彰公認会計士事務所代表として内部監査等の研修・執筆活動にも従事。著書「内部監査のプロが書く監査報告書の指摘事項と改善提案」2016年同文館出版、「内部監査の課題解決法 20」2012年税務経理協会、論文「内部監査報告書の本質論と実務対応～監査の指摘事項と改善提案をめぐる問題」日本内部監査協会「月刊監査研究」2017年5月号、「海外監査の検討課題～成熟度レベルに応じた問題認識と対応」同2013年11月号、「リスクマネジメントに対する内部監査の対応～最適化シナリオに向けて」同2012年3月号掲載、他多数。

●プログラム●

■講義／インパクトのある指摘事項と改善提案を導くスタンダード <14:00-16:30>

内部監査の価値を決定づけるのは、いかに経営にインパクトのある報告書を提示できるか、特に指摘事項・改善提案の出来栄です。今回は主に業務監査における指摘事項と改善提案の切り出し方、書式、文章表現など標準例を具体的な事例を提示して各社が体系的なスタンダードを作る材料を事例形式で具体的に提供します。この分野はIIAその他の実務指針が少ないこともあって、あまり検討もせずに社内の慣行を踏襲している場合が多く見られます。それだけに見直しの効果は潜在的にきわめて高く、これまで習慣的に続けてきた報告書の書き方を体系的に整理して改善することで目に見える効果が期待できる領域です。

1. 業務監査における指摘・改善提案を導くロジックの組み立てと記載内容

- ・改善提案の3つのパターン
- ・指摘事項に説得力を与える構成要素、
- ・リスクの記載要領など

2. 事例から感じ取る指摘と改善提案の勘どころ

—ケーススタディによる良い例・悪い例の検討

■講義をベースとしたディスカッション&総括コメント<16:30-17:00>

～自由討議・意見交換の中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

●参加要領●

●受講料：1名（資料代含む）

正会員	31,320円	一般	34,560円
-----	---------	----	---------

[本体価格 29,000円 本体価格 32,000円]

\* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者のご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先（社）企業研究会

担当) 居代 E-mail: ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3516 / FAX 03-5215-0951 ~ 2

170188	2017 12/19 内部監査実務マスター・コース		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			

※本コースの全体プログラムは、弊会ホームページ「TOP」→「塾・ビジネススクール」→「6. 経営管理」  
 [内部監査実務マスター・コース] で ご覧いただけます。